

会 名	職 員 名	年 月 日 (場所)
光触媒環境浄化研究会 in 九州	狩野 伸自	平成17年1月25日 (福岡市・九州地域産学官交流センター)
「特別講演会」 理化学研究所認定ベンチャー「メガオプト」 理化学研究所における研究成果の実用化の 取組	阿部 久雄 吉田 英樹	平成17年1月25日 (大村市・工業技術センター)
第41回先端材料研究交流会	阿部 久雄 高松 宏行	平成17年1月28日 (佐賀県・佐賀県窯業技術センター)
第39回日本水環境学会年会	阿部 久雄	平成17年3月17日～19日 (千葉市・千葉大学)
「共用品・UDビジネス」の成功のポ イント講演会及び佐世保異業種交流会3月 例会	桐山 有司	平成17年3月23日 (佐世保市・アイトワ)

9. 職員の研修

(1) 中長期研修

研 修 名	陶磁器製造技術研修
期 日・場 所	平成17年2月13日～3月18日 (若宮町・日本陶器若宮工場)
内 容	一環生産で陶磁器製品の製造を行なっている日本陶器において、実際の製造ライン (製土－成形－絵付－窯－検査) を5週間に渡り研修した。
職 員 名	陶磁器科 秋月俊彦

研 修 名	固体電解質環境センサの開発
期 日・場 所	平成16年9月16日～10月1日 平成16年10月12日～25日 (北九州市・九州工業大学工学部 物質工学科 清水陽一教授)
内 容	ナトリウムイオン伝導体であるNASICONの合成方法の習得とNASICON を用いた個体電解質型NOXセンサの開発を行った。研修ではNO、NO ₂ 、N ₂ O に感度良く応答できるセンサ素子を開発できた、このセンサ素子がCO ₂ にも応答 特性に優れていることを見いだした。
職 員 名	研究開発科 永石雅基

(2) 短期研修

会 名	職 員 名	年 月 日 (場所)
企画立案技法研修	永石 雅基	平成16年 5月24日～25日 (長崎市・職員能力開発センター)
県民サービス向上研修	小林 孝幸	平成16年 6月15日～16日 (長崎市・職員能力開発センター)
現業職員研修	山口 英次	平成16年 6月21日～22日 (長崎市・式見ハイツ)
特許電子出願	秋月 俊彦	平成16年 6月24日 (大村市・工業技術センター)
10年目職員研修	吉田 英樹	平成16年 7月21日～22日 (長崎市・職員能力開発センター)
上級マネジメント研修	山下 攻	平成16年 7月27日～28日 (長崎市・職員能力開発センター)
企画立案技法研修	桐山 有司	平成16年 7月27日～28日 (長崎市・職員能力開発センター)
第1回広報誌・パンフレット作成研修	兼石 哲也 阿部 久雄	平成16年 8月20日 (長崎市・職員能力開発センター)
stresscheck v6.3バージョンアップセミナー	秋月 俊彦	平成16年 8月27日 (東京都・NEOビル)
第2回広報誌・パンフレット作成研修	久田松 学	平成16年 9月10日 (長崎市・県職員能力開発センター)
I MO研修会	狩野 伸自	平成16年 9月10日 (長崎市・県庁)
プレゼンテーション研修	高松 宏行	平成16年 9月14日～15日 (佐世保市・サンライフ佐世保)
キャリアデザイン研修 (13年目)	永石 雅基	平成16年10月 5日 (長崎市・職員能力開発センター)
キャリアデザイン研修	秋月 俊彦	平成16年10月13日 (長崎市・職員能力開発センター)
庁内ホームページ管理者研修会	山下 攻 吉田 英樹	平成16年10月15日 (長崎市・大長崎農協)

会 名	職 員 名	年 月 日 (場所)
新規採用職員後期研修	高松 宏行	平成16年10月18日～22日 (長崎市・職員能力開発センター)
エックス線技術講習会	秋月 俊彦 吉田 英樹 狩野 伸自 木須 一正	平成16年10月19日～21日 (福岡市・電気ビル)
政策形成入門研修	狩野 伸自	平成16年11月1日～2日 (長崎市・職員能力開発センター)
研究開発マーケティング研修	阿部 久雄 高松 宏行 木須 一正	平成16年11月25日 (大村市・(財)長崎県産業振興財団)
平成16年度特許講習会	久田松 学 桐山 有司	平成17年2月2日 (波佐見町・勤労福祉会館)
先行技術調査研修会	吉田 英樹	平成17年2月24日 (大村市・工業技術センター)

10. 所内の定例会議・委員会等

10-1 研究会

(1)

会名	材料技術研究会
目的	無機材料に関わる業務における職員の解決能力アップを目的として、毎週水曜日に実施した。平成16年度はX線回折分析の理解とX線取扱上の知識の習得を中心に実施した（X線作業主任者資格受験、全員取得）。
委員名	阿部久雄、永石雅基、秋月俊彦、吉田英樹、狩野伸自、高松宏行、木須一正
開催回数	34回

(2)

会名	陶磁器研究会
目的	陶磁器の、素材、試験方法など業務に関する職員の能力向上を目的として、毎週月曜開催。内容に応じて技術研修を行う。平成16年度は、素地の化学分析、粒度分布、熱膨張、収縮率、吸水率、曲げ強度などによる天草陶土の物性評価を行った。
委員名	大串邦男、兼石哲也、矢野鉄也、久田松学、秋月俊彦、小林孝幸、山口英次、諸隈彰一郎、木須一正、永石雅基、吉田英樹、狩野伸自
開催回数	30回

10-2 金朝会

目的・内容	職員全員が参加、業界動向や技術情報等に関する、様々な情報交換を目的として毎週1回（金曜日）開催する。
開催日	毎週金曜日 9:00~10:00（年46回）

10-3 内部委員会

目的：センターの業務運営を円滑に推進するために、目的別に内部委員会を設け、企画・検討を行うとともに、所員の協力を得ながら必要な作業を実施する。

(1)

会名	図書委員会
目的	書籍、学術雑誌、技術雑誌、参考図書、定期購読書などの購入計画、所蔵図書の管理を行う。委員会の委員構成は、各課（科）より1名選任。
委員名	山下攻、矢野鉄也、秋月俊彦、高松宏行
開催回数	10回

(2)

会名	「KAMA」編集委員会
目的	年2回発刊する窯業技術センターの技術情報誌「KAMA」の、原稿の調整及び編集を行う。
委員名	矢野鉄也、桐山有司、狩野伸自、松本隆
開催回数	6回

(3)

会名	「広報はさみ（窯業技術センターコーナー）」編集委員会
目的	波佐見町が毎月発行する広報誌「広報はさみ」に掲載する原稿の調整及び編集を行う。
委員名	山下攻、兼石哲也、永石雅基
開催回数	12回

(4)

会名	業務報告書編集委員会
目的	窯業技術センターが1年間実施した業務の内容・実績を「業務報告」としてまとめるため、原稿の調整及び編集を行う。
委員名	山下攻、矢野鉄也、狩野伸自、山下行男、阿部久雄
開催回数	8回

(5)

会名	研究報告書編集委員会
目的	研究資料、歴史的資料、成果の普及・啓発に活用することを目的として、センターが実施した研究の内容・実績をとりまとめ、「研究報告書」を年度終了後に編集・発行する。
委員名	永石雅基、兼石哲也、久田松学、吉田英樹
開催回数	6回

(6)

会 名	ホームページ編集委員会
目 的	ホームページに掲載されている情報の更新、センター宛に届いたメールの処理、ホームページの構成・デザイン・編集を行う。
委 員 名	山下攻、桐山有司、吉田英樹
開 催 回 数	56回（更新作業含む）

(7)

会 名	所内LAN・県庁LAN管理委員会
目 的	所内LAN及び県庁LANを構成する端末、サーバ、プリンタ、ケーブル等の運用・管理及び障害への対応を図り、職員のスムーズな利用を支援する。
委 員 名	吉田英樹、桐山有司、高松宏行
開 催 回 数	38回（設定、障害対応含む）

(8)

会 名	CERANET管理委員会
目 的	センターにおける、装置・会議室・公用車等の利用をインターネット上で予約し、効率的に管理する。
委 員 名	狩野伸自、久田松学、高松宏行
開 催 回 数	3回

(9)

会 名	特許、パトリス及びJST管理委員会
目 的	センター職員が職務を遂行するために必要となる技術情報の検索、工業所有権の出願等に関する相談並びにデータベースの管理を行う。
委 員 名	阿部久雄、秋月俊彦、狩野伸自、高松宏行
開 催 回 数	4回

(10)

会 名	広報・一般公開・見学案内担当委員会
目 的	県民の科学技術に対する関心や理解を深めるため、センターの一般公開を毎年開催している（県立の7試験研究機関で実施）。また、一般公開のほか県民やマスコミ等への広報、当センターへの見学者受入れなどを担当している。
委 員 名	山下攻、山下行男、兼石哲也、桐山有司
開 催 回 数	15回

(11)

会 名	安全委員会
目 的	研究用機器及び施設について利用に関する安全管理及び対策を検討する。
委 員 名	山下攻、永石雅基、木須一正、山口英次
開 催 回 数	3回

(12)

会 名	重要物品等機種選定委員会
目 的	センターに導入する機器など重要物品に関し、使用目的や能力など試験研究に最適の機種を選定する。
委 員 名	福村喜美子、山下攻、大串邦男、山下行男、松本隆
開 催 回 数	3回

(13)

会 名	展示品管理委員会
目 的	窯業技術センターの変遷や研究成果、企業との共同研究・共同技術開発の成果品及び県内窯業関連企業の商品などを管理、展示し紹介する。
委 員 名	久田松学、矢野鉄也、狩野伸自
開 催 回 数	3回

11. 施設見学者数

(1) 見学者数の推移

年 度	16年度	15年度	14年度
件 数 (件)	48	34	30
入場者数 (人)	946	951	954

(2) 主な見学者・団体

団 体 名	人数(人)	見 学 日
熊本県伝産工芸館友の会	20	平成16年4月27日
愛知教育大学附属名古屋中学校	6	平成16年5月19日
(財)長崎県すこやか長寿大学校長崎校	100	平成16年6月1日
長崎県原爆被爆者特別事業	19	平成16年7月15日
韓国窯業技術院	4	平成16年7月15日
第9回駆け出し陶芸家塾	12	平成16年7月22日
国立佐世保工業高等専門学校	6	平成16年7月30日
波佐見町教育職員視察研修	24	平成16年8月10日
JICA見学	25	平成16年9月8日
インターンシップに関する研修	2	平成16年9月13日
マレーシア地域振興代表団との交流会	26	平成16年9月14日
有田窯業大学校	27	平成16年9月22日
金岡技術士事務所(瀬戸市)	3	平成16年10月8日
佐世保市立三川内中学校	42	平成16年10月26日
県立長崎シーボルト大学	4	平成16年11月8日
波佐見町立南小学校	64	平成16年11月11日
波佐見町立南小学校4年生	31	平成17年2月23日
波佐見町立南小学校4年生	31	平成17年2月25日
九州大学大学院工学研究院地球資源システム工学部門	36	平成17年3月4日

【資料】

長崎県窯業・土石製品出荷額

平成15年1月～12月

項 目	企 業 数 (社)	従 業 員 数 (人)	出 荷 額 (万円)	出 荷 額 対前年比：%	備 考
ガラス・同製品	6	500	964,433		
セメント・同製品	124	1,857	3,107,885		
陶磁器製品	155	1,700	944,194		
耐火物	2	X	X		
骨材・石工品	31	297	397,938		
その他の窯業・土石製品	10	X	X		
合 計	328	4,480	5,541,962		

※資料は「平成15年長崎県の工業」より従業員4人以上の事業所の出荷額を記載

陶磁器製品関連の出荷額

平成15年1月～12月

項 目	企 業 数 (社)	従 業 員 数 (人)	出 荷 額 (万円)	出 荷 額 対前年比：%	備 考
食卓用・厨房用陶磁器	95	1,361	789,344		
陶磁器製置物	5	35	14,061		
陶磁器製タイル	1	X	X		
陶磁器絵付	10	64	35,921		
陶磁器用はい（坏）土	2	X	X		
石膏製品	7	48	89,301		
耐火物等	2	X	X		
その他の陶磁器・同関連製品	42	222	28,251		
合 計	164	1,748	972,445		

※資料は「平成15年長崎県の工業」より従業員4人以上の事業所の出荷額を記載